

令和6年4月

令和6年度 鈴鹿市立深伊沢小学校

# 学校経営の改革方針（案）

## 1 めざす学校の姿

《鈴峰中学校区統一キャッチコピー》

「地域とともにたくましくチャレンジする鈴峰の子」

### 【学校教育目標】

「人と人とのつながりを大切にし、  
豊かな心でたくましく生きる子どもの育成」

### 【めざす学校像】

- 笑顔と会話のあふれる、みんなが行きたくなる学校
- 地域・家庭とともに歩む、信頼される学校

### 【めざす子ども像】

- 自分の思いや考えを持ち、進んで学ぼうとする子ども
- 人と人とのつながりを大切にし、思いやりのある子ども
- 自分や他の人の生命・健康・安全を大切にする子ども

### 【めざす教師像】

- 確かな指導力と豊かな人間性で、子どものよさを引き出す教師
- 自己研鑽に努め、互いに学び合う同僚性の高い教師

## 2 基本方針

- (1) 豊かな人間性と健やかな身体を持つ子どもの育成
  - すべての教育活動で『命』『人権』『仲間』を大切にされた教育の推進
  - 自己肯定感が高く、仲間とともに意欲的に活動する子どもの育成
- (2) 確かな学力を身に付け、自分の思いを出せる子どもの育成
  - 特別支援教育の視点に立ち、個々の課題に対応した教育の推進
  - 聴き合い話し合う活動を通じた、コミュニケーション力の育成
  - ICT 機器の効果的な活用推進による授業改善
- (3) 安全・安心な環境を整えた学校の創造
  - 安全教育の推進と、安全管理の徹底及び環境整備の充実
- (4) 地域・家庭・校区の学校と連携した学校の創造
  - 学校評価に基づいた経営改善による、地域(学校運営協議会)や保護者との信頼関係構築と教育活動の連携・協働の推進
  - 中学校区の小中学校との連携・協働の強化
- (5) やりがいと確かな指導力で子どもを伸ばす教職員集団の構築
  - 教職員研修の推進と職場の同僚性を高める組織づくり
  - 校務支援システムの効果的な活用を軸にした、働き方改革の推進

## 3 達成方策

- (1) 学校長がビジョン・到達目標を明示し、教職員が一体となって目標推進するよう、確実にPDCAサイクルを進める。
- (2) 教職員が人権意識を高く持ち、いじめや差別を見逃さない風土を作り、不登校を生まない安心できる学級集団づくりを行うとともに、人権教育推進担当教員を中心とした人権教育を実践する。
- (3) 個々の児童を丁寧に見つめ、個別の課題を的確に把握し、特別支援教育の視点に立った指導を実践するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制を確立する。
- (4) 研修長を中心に、学力向上を図るための聴き合い話し合い学び合う協働的な学習の授業研究を推進し、すべての教員が実践する。

- (5)児童の非認知能力を高める教育を、様々な教育活動の中で実践する。
- (6)より効果的な学習効果を得るため、ICT機器を有効活用した授業改善に取り組む。
- (7)教職員が危機管理意識を高く持ち、生活指導担当を中心に、安全教育に積極的に取り組む。
- (8)教頭、事務職員を中心に、PTA や地域と連携して環境整備に努める。
- (9)地域や保護者へ学校の教育活動を積極的に発信する。
- (10)学校関係者評価や地域・保護者の意見を積極的に取り入れた学校改善に取り組む。
- (11)鈴峰中学校区で連携し、合同研修や担当者会、実践取り組みなどを積極的に進める。
- (12)教職員の資質向上を目指し、積極的に研修を奨励する。
- (13)職員のワークライフバランスを大切にし、働き方改革を進める。

#### 働き方改革

- 定時退校日 月3日設定(第3木曜日, 第4金曜日, あと1日)
  - ・実施職員の割合95%以上
- 会議短縮
  - ・60分以内終了 80%
- 時間外労働上限
  - ・年360時間を超える職員 0
  - ・月45時間を超える職員0
  - ・職員一人当たりの時間外勤務 月平均20時間以下